

感染防止対策マニュアル

橿原市立新沢小学校

6月1日（月）の学校再開に伴い、新型コロナウイルス感染防止対策として、以下の点に留意し、学校再開、教育活動を行っていく。

児童の健康観察については、引き続き、健康観察表等で日々の健康状態をチェックしていく。発熱等のかぜ症状があれば登校せず、出席停止扱いとする。また、登校後同様の症状があれば帰宅させる。

☆新型コロナウイルスに対しての知識や、感染予防方法などを学年や児童生徒の発達段階に応じた指導をする。その際、感染者や濃厚接触者に対しての偏見や差別、いじめ等が起こらないように、配慮及び指導する。

以下について3つの密（密閉・密集・密接）について配慮し、指導するものとする。

○施設について

- ・児童下校後、翌日の登校時まで、児童がよく触れるような場所（ドアノブ、手すり、スイッチなど）や共用の教材、教具、情報機器などの消毒をする。（次亜塩素酸ナトリウムを使用）
- ・下校時に昇降口付近で、複数学年の児童生徒が密集した状態を避けるように指導する。
（例：密集を避けるため、部団ごと等時間差で教室を出るよう指導する。高学年では、密集になっていると判断できるときは、慌てず距離をおいて待つことも大切であることを指導する。）
- ・休み時間等にできるだけ密集した状態や場面を作らないように、児童生徒の動線を検討する。特に休み時間等、フロア間の不要な移動を極力避けるように指導する。

○手洗い、手指の消毒について

- ・登校後、給食前、清掃活動後、トイレの後や外から戻った時などに手洗いを励行し、習慣化できるよう指導する。（ハンカチの携行）
- ・基本的には流水と石鹸での手洗いを指導する。
- ・手洗いをする時間を設定したり、手洗い場での直接の指導をしたりするなどし、十分な手洗いができるような工夫をする。手洗い場が密集にならないように順番待ちがスムーズにできるよう場の工夫をする。
- ・消毒液（消毒用エタノールなど）は補助的に用いる。
- ・トイレの使用に関しても、トイレの中が密集とにならないようにする。また、トイレが密集にならないように順番待ちがスムーズにできるよう場の工夫をする。

○換気など

- ・咳エチケットの指導をする。
- ・授業中は双方向の窓を開けての換気をする。
- ・休み時間には窓を広く開けての換気をする。
- ・できる限り工夫をし、教室内の座席の間隔を広くする。
（学年によっては、授業の形態により空き教室を活用するなどできる限り工夫をし、教室内の座席の間隔を広くする。）

○マスクの着用

- ・教室での授業時、給食の配膳時には必ず着用するよう指導する。
- ・屋外での体育の授業では十分な距離を取っている場合、着用しない。（マスク熱中症に十分気をつけるよう指導する。）
- ・体育館などの屋内での活動でも、換気と十分な距離を取っていれば、着用しない。
- ・マスクには記名をさせる。
- ・給食時等、マスクを外すときは別の袋に入れる等、衛生面に配慮する。（袋にも記名をさせる。）

○給食について

- ・給食時は、机の間隔をできるだけ広くするため、クラスの人数によっては空き教室を活用する。
- ・食事の前の手洗いを徹底する。
- ・配膳時には全員マスクを着用する。
- ・机を向かい合わせにしない。
- ・感染リスクを考え、できるだけ会話などを控えるよう声かけをする。
- ・一度配膳された給食を戻す場合は、給食の終わりにする。
- ・一度戻した給食を、おかわりなどで、再び配膳することはしない。
- ・食べ始める直前や、食べ終わったらマスクを付けるようにする。
- ・教職員の配膳補助は可能な限り行っていく。
- ・給食当番はエプロン、ぼうし、マスク、ビニール手袋を着用する。（マイエプロンの使用は可）
- ・かたづけ後は手洗いをしっかりする。
- ・その他配慮の必要なことについては、校内食育推進委員会で検討し全職員で対応する。

○その他

- ・清掃については、身体的接触を避けるため少人数・短時間での実施を工夫する。
- ・学校への来客や訪問者については、記名をし、記録をする。
- ・PTA役員などが来校される際も、動線を区切り、できる限り児童生徒との接触がないようにする。

○各教科の指導について

各教科については、以下に掲げるものなど対策を講じても感染の可能性が高い学習活動については当面行わず、段階的に工夫して指導する。

- ・音楽科における狭い空間や密閉状態での歌唱指導や身体の接触を伴う活動。
- ・家庭科における調理などの実習。
- ・体育科・保健体育科における児童生徒が密集する運動や児童生徒が近距離で組み合ったり接触したりする場面が多い運動。
- ・児童生徒が密集して長時間活動するグループ学習。
- ・異学年交流の機会や活動。

☆教科によっては、1年間の見通しを持って、単元の入れ替え等を行い、感染の可能性の低い学習活動から行う。

※このマニュアルは定期的に見直し、改正していくものとする。